

平成30年度 第1回 診断支援WG … 13:30～15:00(予定)

[遠隔診断の試行(越生町・町道1-13号 瀧澤橋)]

- 開 会(趣旨説明)
- 技術相談
 - ・ 現地班の紹介
 - ・ 対象橋梁の概要～相談ポイントの確認
 - ・ 遠隔診断アドバイスの実施
- 意見交換

⇒ 瀧澤橋(現場班)

… 13:30～14:30

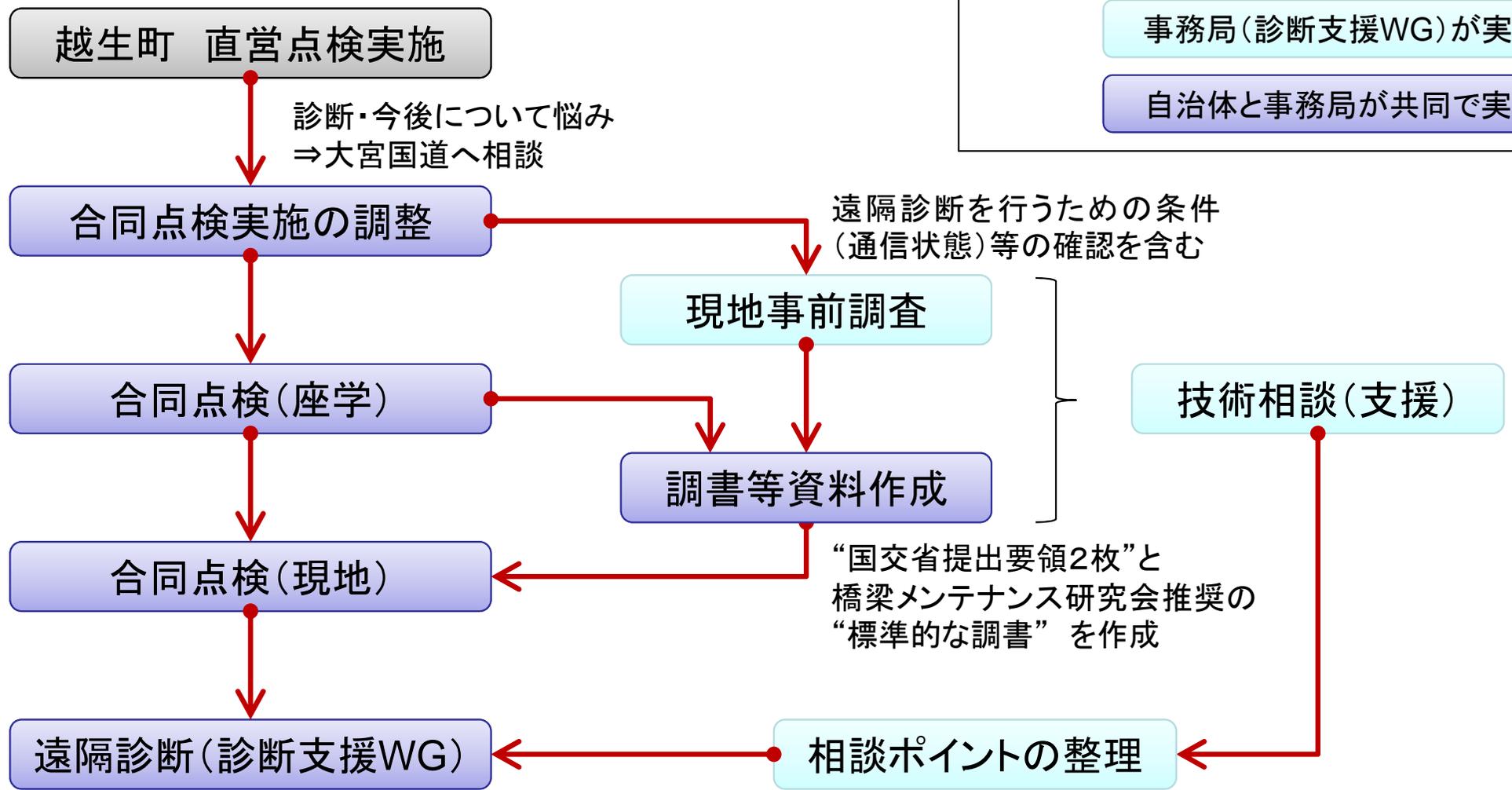
越生町 技術相談の流れ

- 越生町の職員が直営で点検を行った瀧澤橋について、遠隔診断のモデルケースに選定
- 合同点検で点検調書を作成(精査)、事務局で相談ポイントを整理し、遠隔診断を実施

●合同点検～遠隔診断まで

凡例:

- 相談元(自治体)が単独で実施
- 事務局(診断支援WG)が実施
- 自治体と事務局が共同で実施

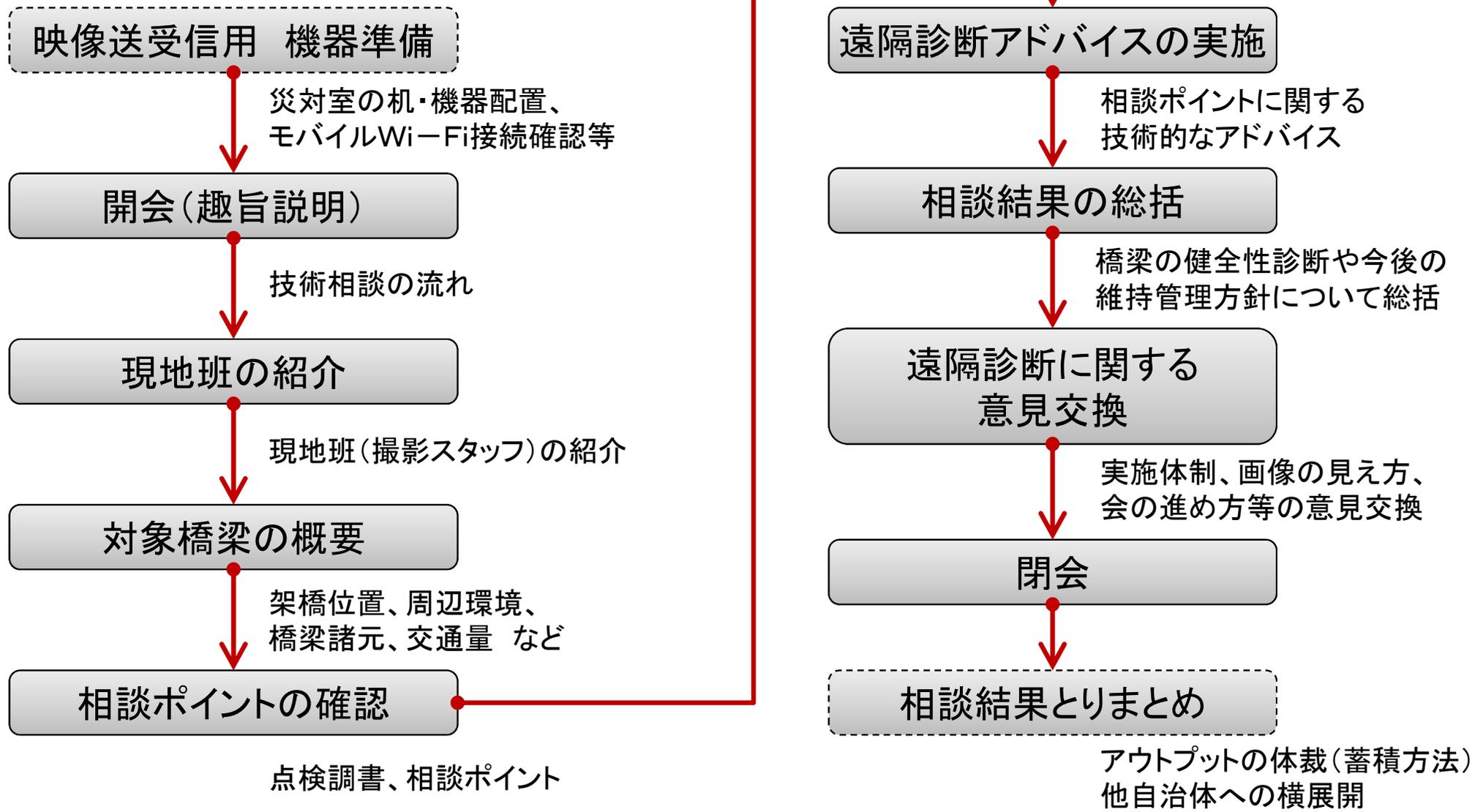


合同点検の結果を踏まえ、当該橋梁の診断にあたっての着目点を取りまとめ

越生町 技術相談の流れ

- 点検調書等をベースに当該橋梁の諸元、これまでの維持管理履歴等を説明
- 相談ポイントを中心にアドバイスをもらい、橋梁全体の健全性診断・維持管理方針について総括

●遠隔診断(当日)の流れ

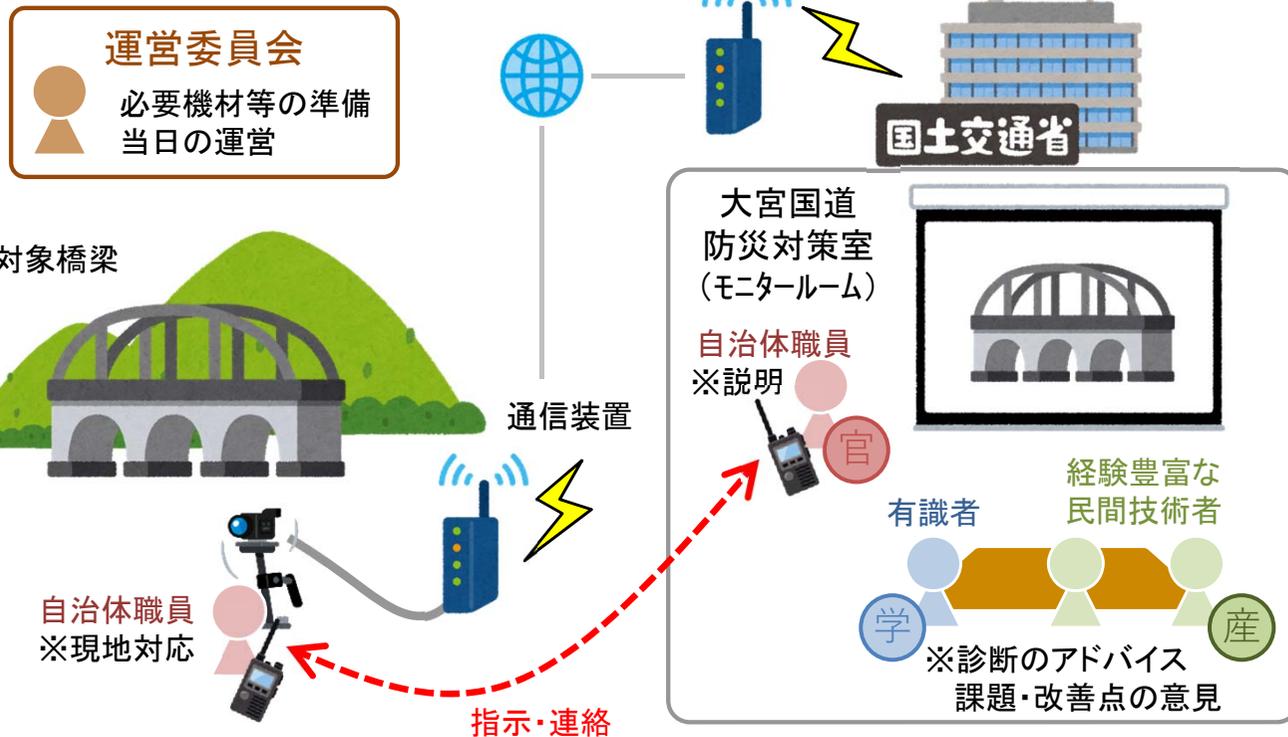


遠隔診断の概要

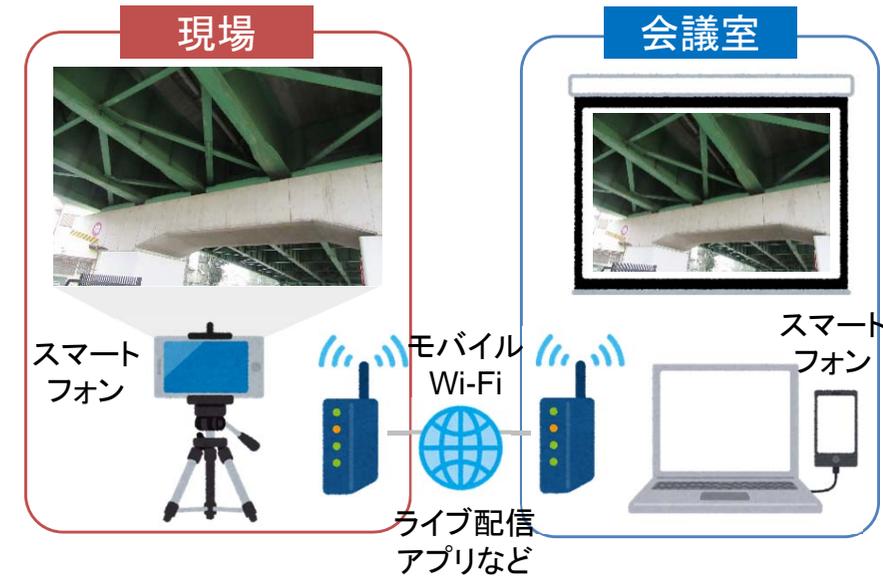
□ 概要

- 比較的簡易に導入できる**市販(安価)の映像送受信ツールによる遠隔診断を試行**する
- 経験豊富な技術や橋梁構造に詳しい有識者(アドバイザー)に大宮国道の災害対策室へ集まっていただき、診断に悩む自治体へのアドバイスをを行う
- 遠隔診断を円滑に行うために必要な実施体制や画像解像度などの課題・改善点について、アドバイザーからご意見を頂戴する

□ 実施体制案



□ 映像送受信の構成イメージ



実施イメージ(モニタールーム)

遠隔診断の実施体制(災対室モニターと現地班カメラの関係)

災対室(モニター)

調書／損傷写真(静止画)

損傷箇所の状況

現地班の状況

現 地

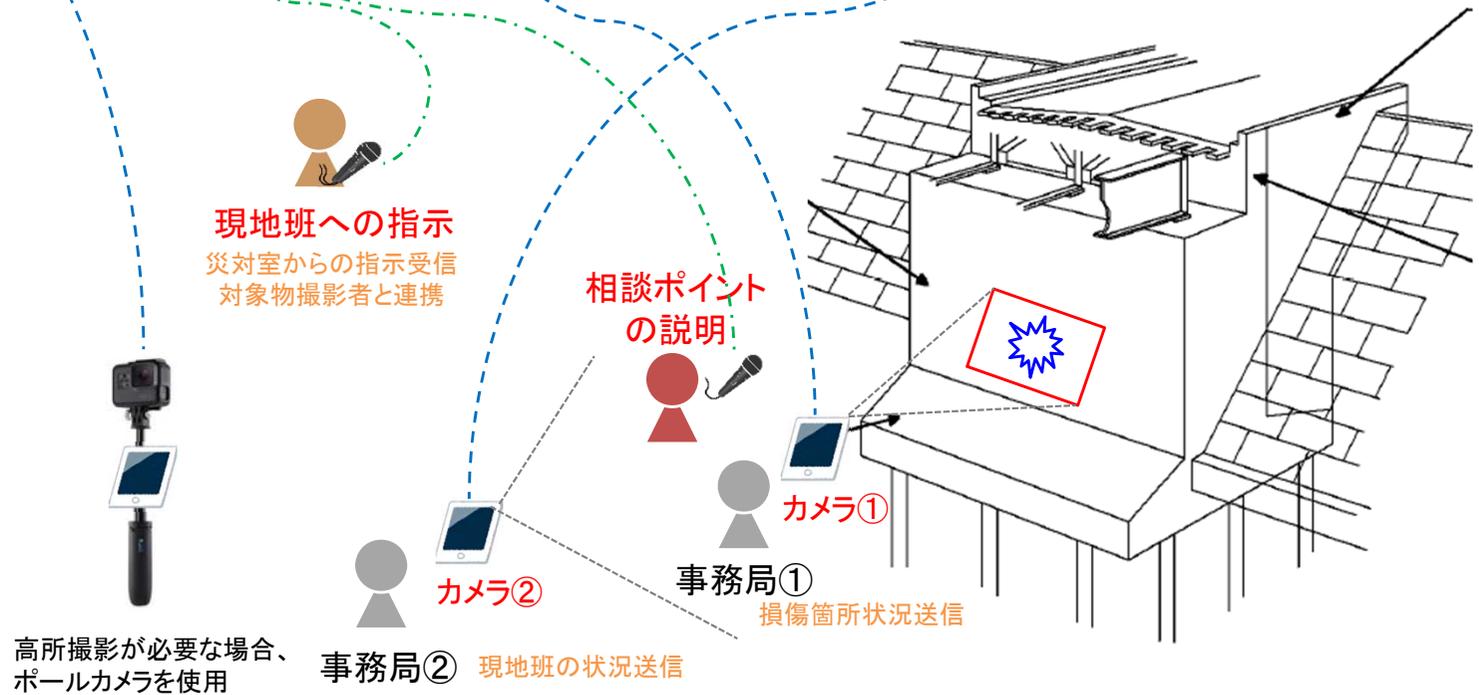
現地班の体制

- 自治体職員
- 事務局 (大宮国道事務所)

- 相談ポイントの説明
- 中山保全対策官 ★現地班統括 現地班への指示
- 事務局① 損傷箇所状況の撮影(カメラ①)
- 事務局② 現地班状況の撮影(カメラ②)

全指向性マイク
スピーカー

Skype 通話
Skypeサーバー



ご発言時のお願い(ルール)

- 基本はミュートOFFの状態とし、状況により事務局がミュートONにします。
- 現場班に向けたご発言(通話)の際は、以下の手順でお願いします。

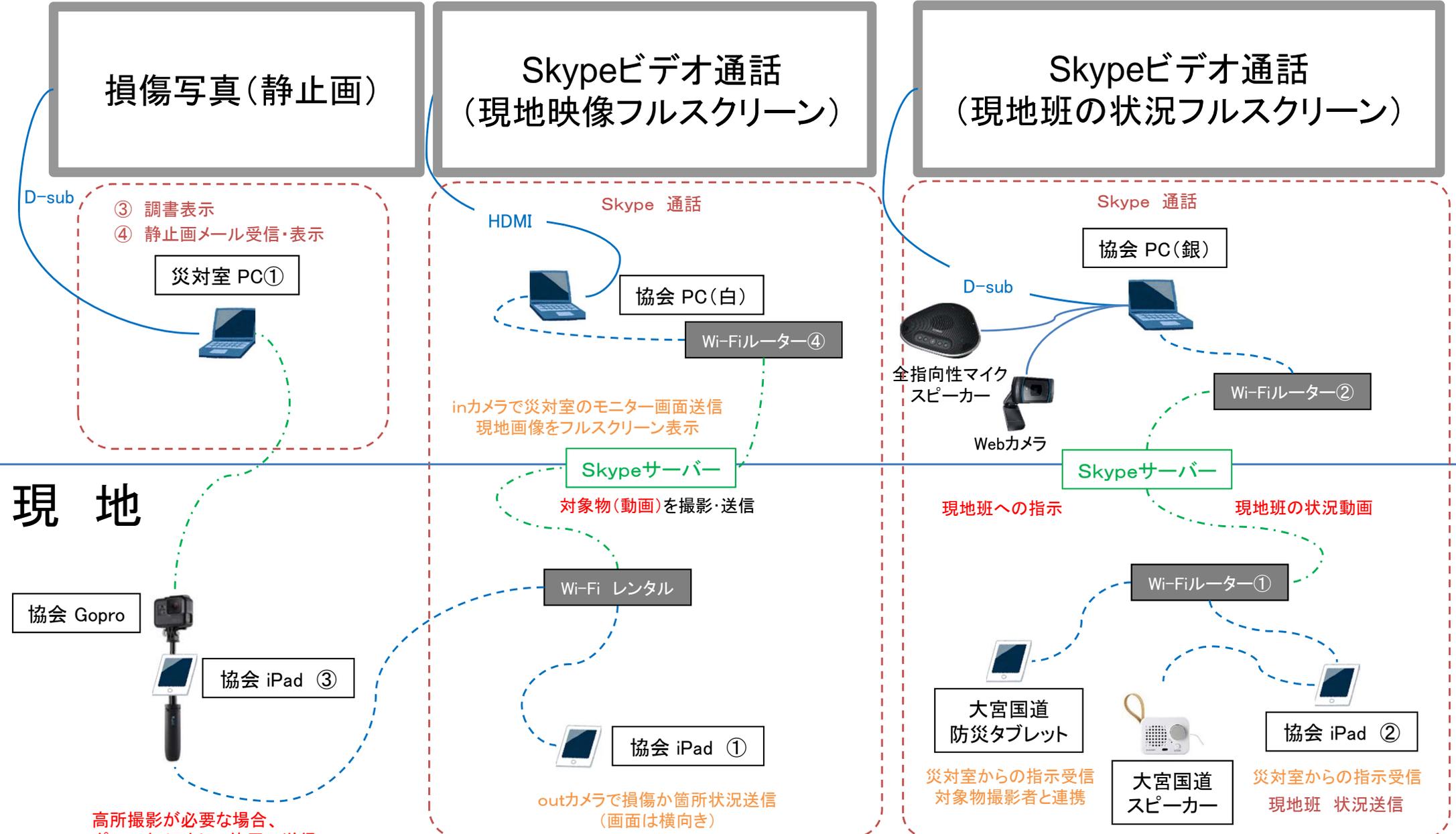
- ① 挙手 現場班が聞き取れないことがありますので、ご発言は順番にお願いします。
- ② 名乗り 発言にあたっては、現場班に向けて、ご所属とお名前をお伝えください。
- ③ やりとり 現場への呼びかけ・応答を待ってから、ご発言をお願いします。
また、ご発言は語尾まではっきりと言い切るようにお願いします。
- ④ 終了 ご発言後、要件が「以上」であることをお伝えください。

全指向性マイクスピーカー



【参考】機器構成

災対室



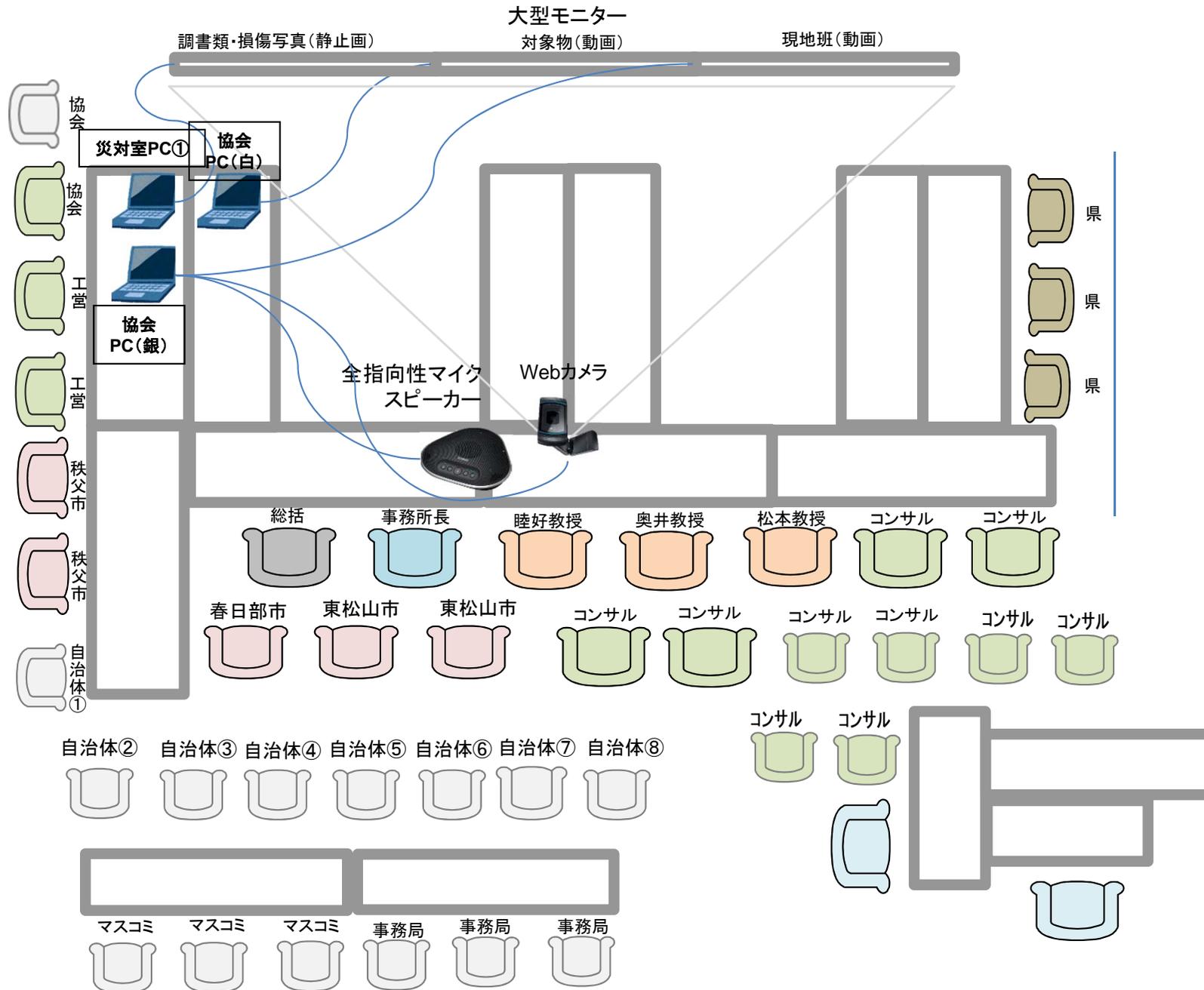
現地



高所撮影が必要な場合、
ポールカメラとして使用→送信

※ ポールカメラが必要となった場合、GoProで高所静止画をメールで送信する。
(若干時間を要します)

会場(災害対策室) 配席図



位置図



航空写真



現況写真

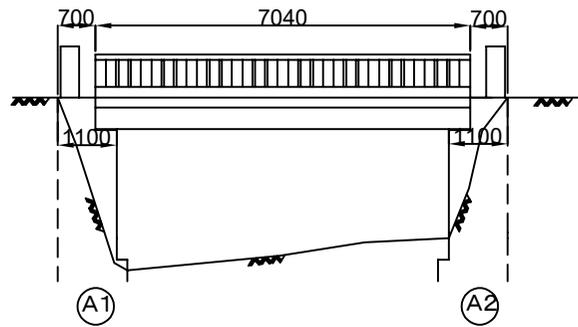


※ 通行状況:ほとんどが歩行者で、通行車両は限定されている。

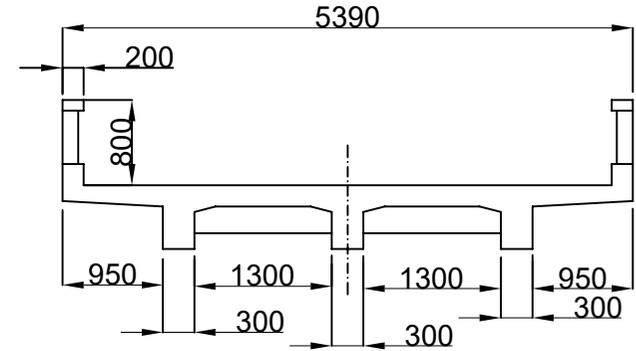
橋一般図

(瀧澤橋)

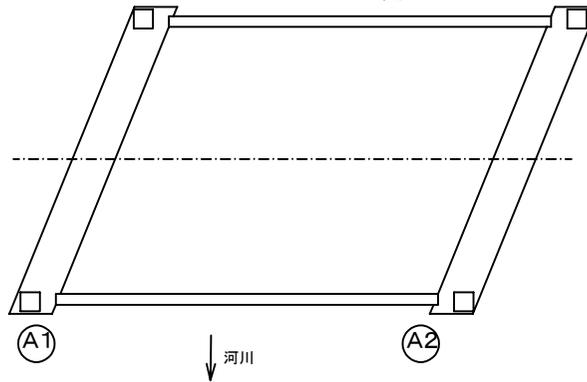
側面図(S=1:100)



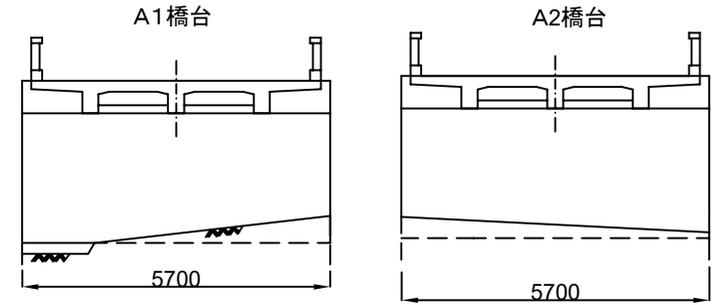
上部工標準断面図(S=1:50)



平面図(S=1:100)
上面



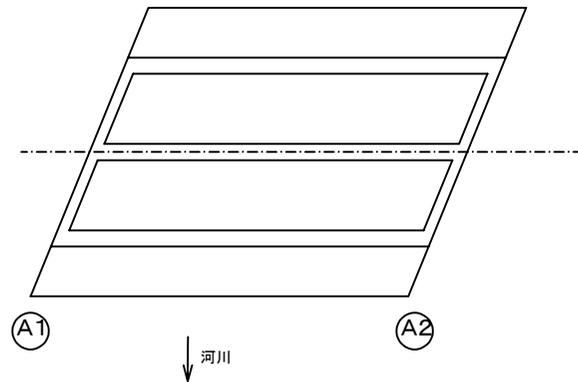
下部工断面図 (S=1:100)



橋梁諸元

道路規格	不明
橋長	7.04m(実測値)
幅員	5.39m(実測値)
上部工形式	RCT桁橋
下部工形式	逆T式橋台(推測)
適用示方書	不明
建設年月日	昭和29年(親柱より)

平面図(S=1:100)
下面



* 道路縦断勾配は加味しないで水平に記載
* 上部工形式は適合する形式がないので便宜上RCT桁橋と記載
* 表示している寸法は現地計測値を記載